

人とさまざまなことを「つなぐ」

生活支援コーディネーターの主な活動・取り組み

想いを
つなぐ

協議体(情報交換の場)・企業向けネットワークの運営・サポート

「地域にあったらいいな」「こんな地域にしたい」などの想いを参加メンバーと共有し、地域が元気になる方法を一緒に考え、住民の皆さんが主体的に活動できるためのサポートを行います。

情報を
つなぐ

地域の宝物の発掘・情報共有

ふだんの暮らしの中で何気なくしていることや人との関わりの中で生まれたつながりなどが、支え合いや助け合いにつながっています。これを「地域の宝物」と呼んでいます。地域を元気にする大切な資源として把握し、地域全体へ情報を発信していきます。

人を
つなぐ

出前講座・勉強会の実施

それぞれの地域の実情や対象者に応じて、出前講座・勉強会を実施しています。地域の住民同士が互いに認め合う関係づくりを築き、今の活動を広げたり、新たな形を生み出す方法へつなぎます。

場を
つなぐ

活動の場を把握・情報の見える化

高齢者サロンやシニアクラブの活動、民間企業や介護事業所の取り組み、その他見守り活動など、さまざまな地域の活動に参加し、地域の皆さんとつながり、交流の場や社会参加の場として情報を整理し、必要な人へつなぎます。

支援を
つなぐ

必要としている地域を把握

関係機関・団体と情報共有を図りながら、住民の話し合いの場への参加やアンケートの実施を通じて、支援が必要な人や地域課題を把握し、何が地域に必要なのか住民の皆さんと一緒に考え、それぞれの地域に応じて必要な資源(支援)をつなぎます。

企業として地域の役にたてることはないかな？
社会貢献活動ってほかの企業は何をしているの？

→他自治体の情報の提供や住民から挙げた活動を協働で進めていく方法などを提案することができます。

地域で活動を始めたいが、どのように進めればいいのかわからない

→市内の地域の情報(ニーズ)の提供、地域の支援者や協力できる関係機関・団体へつなぐことができます。

地域に密着した活動を進めていきたいが、どんな活動ができるかな？

→地域とつながる方法を一緒に考え、同じ想いを持った仲間とつなぐことができます。



地域づくりの相談は、生活支援コーディネーターへ

自分の趣味や経験を活かしたい！地域で活躍の場は？

→地域が必要としている活動や活かす場の情報提供、関係機関・団体へつなぐことができます。

コロナ禍でも通いの場ができる方法・工夫はないかな？

→コロナ禍での地域づくりの進め方について一緒に考え、他の地域のおすすめの活動など情報提供ができます。

地域の担い手がない・・・仲間を増やすにはどうしたらいいかな？

→他の地域の工夫した取り組みなどの情報提供、出前講座・勉強会などを対象者に合わせて実施することができます。

まずは お気軽に！連絡お待ちしております

【問い合わせ先】

那珂川市役所
高齢者支援課高齢福祉担当

☎ 953-2211

【相談窓口】

あなたのまちの
生活支援コーディネーター
(那珂川市社会福祉協議会地域福祉係:神田・溝口)

☎ 952-4565

FAX 952-7321

生活支援体制整備事業

「互いに 支え合い 助け合い」
～みんなが主役の地域づくりを目指して～



あなたのまちの 生活支援コーディネーター

住民の皆さんと一緒に 地域の支え合い活動を進めています

那珂川市は、平成29年4月より「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」の取り組みの1つである「生活支援体制整備事業」を開始し、「生活支援コーディネーター」が配置されました。

この取り組みは、いくつになっても住み慣れた地域で生きがいを持った暮らしを続けるために何が必要か、「こんな地域だったらいいな」などを話し合う協議体(情報交換の場)を設置し、地域住民や専門職・関係機関や団体などが集まり、それぞれの地域の実情に応じた支え合い活動を進めていくものです。

生活支援コーディネーターは、協議体と協力しながら、那珂川市全体が元気になる住民主体の支え合い活動を進めています。

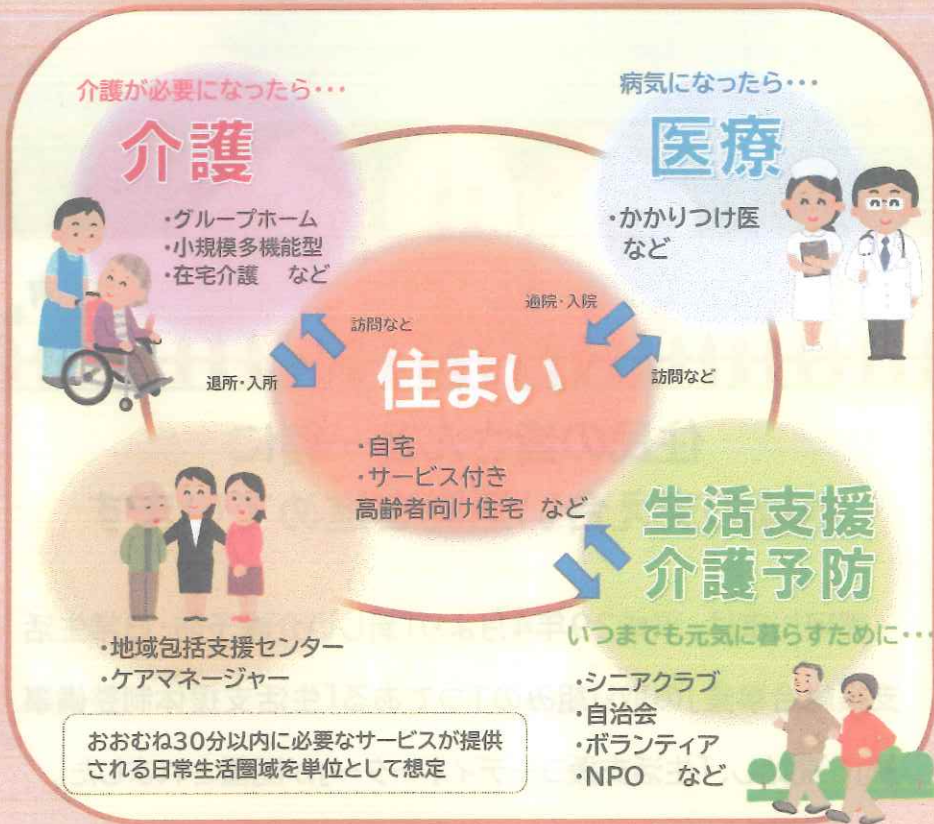
2025年へ向けて 地域包括ケアシステムの構築の実現へ

- 人口減少 ●少子・高齢化
- 一人暮らし高齢者の増加
- 要介護、認知症高齢者の増加
- 医療費や介護給付費の増大
- 死亡者数の増加
- 介護人材の不足等・様々な課題

病气や介護が必要になっても安心して住み続けられる地域づくりや体制が必要=地域包括ケアシステム

2025年、団塊の世代が75歳となり超少子高齢社会を迎え、多様化する社会問題を踏まえ、高齢者の尊厳の保持・自立生活の支援を基本に、**住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう**、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的な支援やサービスが提供できる体制づくりとして「地域包括ケアシステムの構築」が必要になりました。

地域包括ケアシステムの姿



互助を中心とした「生活支援体制整備事業」の取り組み

互助とは、心だんの暮らしの中にある人と人とがつながり、顔の見える関係づくりの中で生まれる支え合いの活動です。これからは、「生活支援・介護予防」の視点を持った互助の活動が重要になります。

地域によってさまざまな特色があるため、地域の実情に応じて独自に進めていく事業になります。

まずは、話し合いの場(協議体)を設置し、地域の皆さんの「こんな地域だったらいいな」を生活支援コーディネーターと一緒に考えながら支え合い活動へつなげていきます。

平成29年より那珂川市も取り組みを進めています

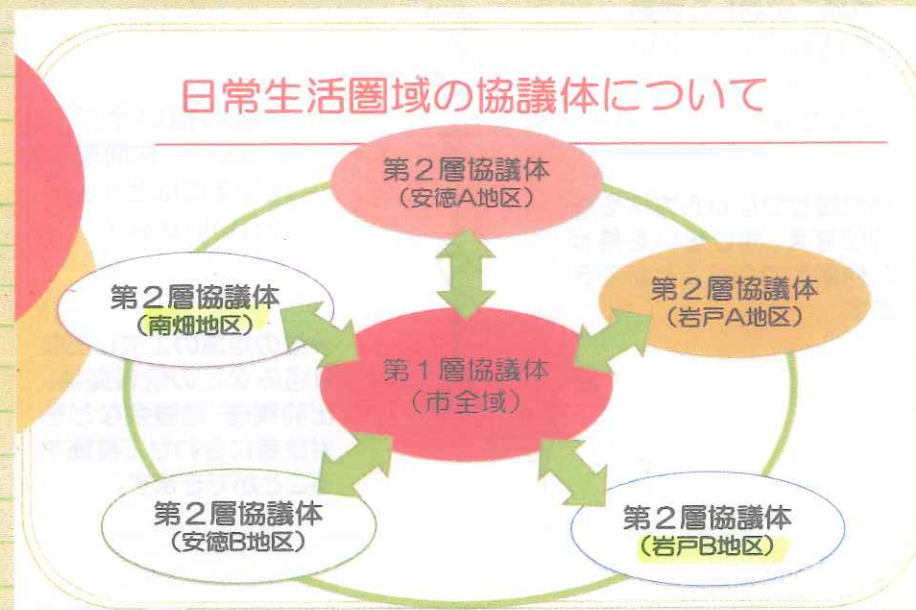
これからの支え合いの地域づくりへ向けて

- ポイント 1** 10年先・20年先の自分ごととして考える
いつまでも元気で生き生きとした暮らしを続けられるように、これから先の10年後・20年後を見据えて自分ごととして地域づくりを進めていくことが必要になります。
- ポイント 2** 顔の見えるお互いさまの関係づくり
「ちょっと気にかける」ことにより、災害時や困った時の助け合い、支え合いとして、住み慣れた地域で住み続けるための安心感へつながります。互いに認め合い「お互いさま」の気持ちが大切になります。
- ポイント 3** できることを活かそう！「みんなが主役」の地域づくり
支える側・支えられる側の区別なく、誰もが地域で必要とされる環境づくり(居場所)が必要になります。今まで経験したことや生活の知恵など得意なことを活かして、役割を持った暮らしが介護予防・健康づくりへつながります。

協議体(情報交換の場)とは

安心して暮らしやすい地域づくりを目指して
自分達らしい形で 無理なく 継続した
助け合い支え合いの活動を進めていくための情報共有・交換の場

市域全体(第1層) + 日常生活圏域(第2層)



支え合い活動を推進するには住民の方だけでなく、行政機関・民間企業・社会福祉法人・ボランティア団体やNPO法人など、皆さんの協力が必要になります。

- 安徳A地区(上梶原区・下梶原区・安徳区・東隈区・仲区・玉塚台区)
- 安徳B地区(五郎丸区・松木区・今光区・中原区・観晴が丘区・松原区)
- 岩戸A地区(西畑区・別所区・井尻区・山田区・西隈区・後野区)
- 岩戸B(道善区・恵子区・谷口区・内田区・観音堂区・下片縄区・下片縄西区・今池区・新町区・緑区・浦ノ原区・丸ノ口区・ときわ台区)
- 南畑地区(市ノ瀬区・埋金区・不入道区・成竹区・寺倉区・南面里区)

日常生活圏域の協議体(第2層) 地域支え合いメンバーとは

自分の将来のために 子どもの未来のために
「地域のために」想いを抱いている人なら
誰でもなれる **「みんなが地域の一員！」**

- 日常生活圏域協議体(第2層) 「地域支え合いメンバー」の役割
- ① 定期的な情報交換の場への参加
 - ② 地域との連携(情報共有・発信)
 - ③ 支え合い活動の協力

地域支え合い活動推進員
生活支援
コーディネーター
+
地域支え合いメンバー
・地域づくりに関心がある
・地域を元気にしたい
・地域の役に立ちたい

地域で担う役割に関係なく、さまざまな人が関わり、「強み」や「良さ」をつなぎ合わせることで、自分達の地域に合わせた地域づくりを進めていくことができます。

地域支え合いメンバーを募集します！

日常生活圏域5ヶ所中、現在2ヶ所設置・運営しています。
全エリアの設置へ向けて
生活支援コーディネーターは活動を進めています。